

### 青森ねぶた祭 マルハニチロ倭武多会 出陣

東北の夏を彩る「青森ねぶた祭」が、8月2日（水）～7日（月）に青森市中心部で開催され、282万人の観光客が訪れました。

青森ねぶた祭に1953年から参加しているマルハニチロ倭武多会。今年で51回目の出陣となりました。大勢の観客の前で、鮮やかに輝く大型ねぶたが“ねぶた見せ（お辞儀）”や回転をするたびに、大きな歓声があがりました。

今年の題材は『『岩見重太郎 狒々退治（いわみじゅうたろうひひたいじ）』ねぶた制作：手塚茂樹

最終日の7日（月）には、花火大会と海上運行が今年の青森ねぶた祭のフィナーレを飾りました。



大型ねぶた（幅9m、高さ5m、奥行7m、重さ4t）提灯をずらりと並べる伝統的な飾り方を踏襲しているマルハニチロ倭武多会のねぶた。



前ねぶた



先導役・運行責任者



ねぶたの後ろ姿は「見送り」と言われています。夜の闇に小さく消えていくその姿は、走馬灯のように過ぎていく夏を惜しむかのように哀愁を誘う役目があります。



跳人（はねと）



8月9日（水）ねぶた小屋にて、ねぶた解体が行われました。

マルハニチロ倭武多会を応援して下さいました皆様、運行などに携わって下さった皆様、ありがとうございました。



迫力ある演奏のマルハニチロ倭武多会囃子方「海鳴（うみなり）」

前ねぶたを先頭に、先導役・運行責任者、跳人、大型ねぶた、囃子方と運行形態が連なり、1団体は全長110mになります。

【本件に関する問い合わせ先】  
 マルハニチロ(株)経営企画部経営戦略グループ  
 TEL :03-6833-4133